

2018年3月期 決算説明会

2018. 6. 7



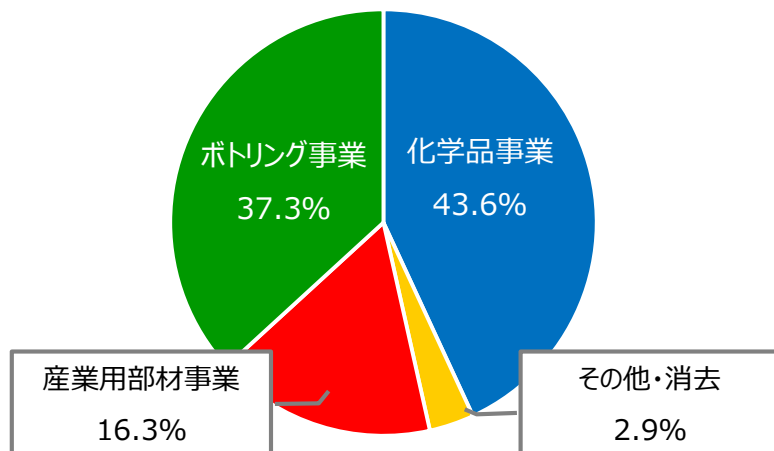
カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

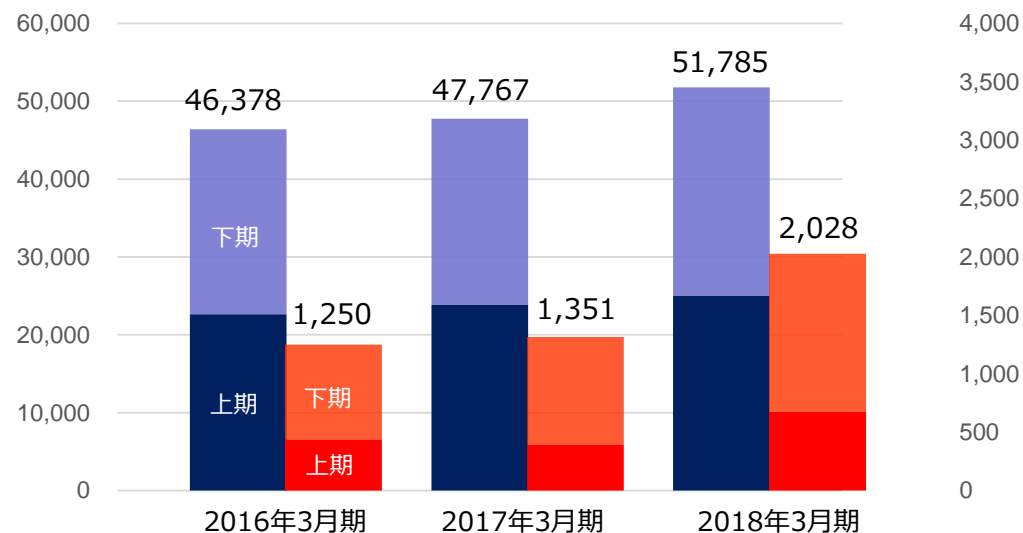
本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 廣橋 賢一
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,062名（連結）
発行済株式数	24,050,000株（1単元100株）	単元株主数	30,279名

（2018年3月31日時点）

<2018年3月期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>

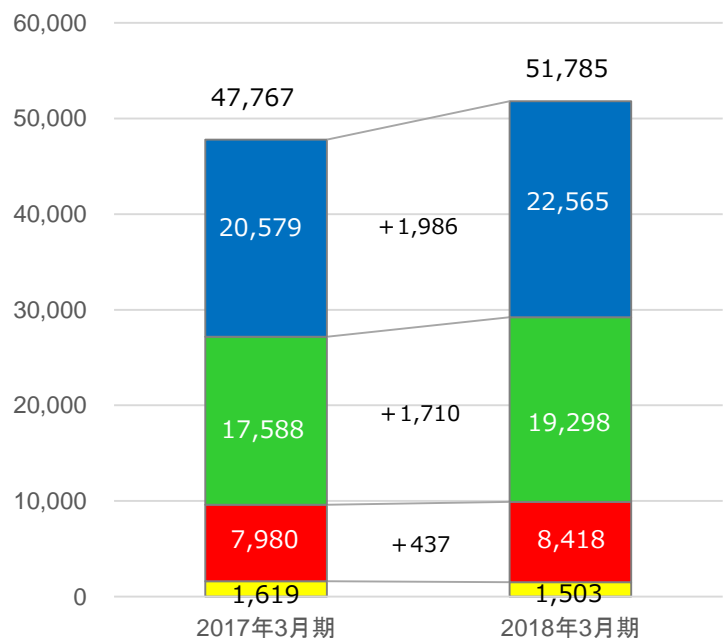


2018年3月期 決算概要

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	差異 増減率
売上高	47,767	51,785	4,018 8.4%
売上原価	40,120	43,458	3,338 8.3%
販売費及び一般管理費	6,295	6,298	2 0.0%
営業利益	1,351	2,028	677 50.1%
経常利益	1,439	2,176	736 51.2%
当期純利益	765	1,506	741 96.9%

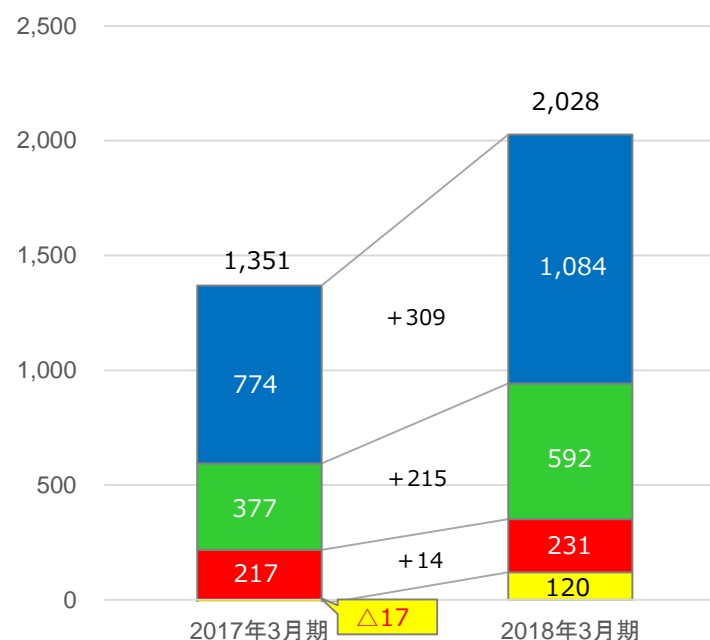
【売上高】

(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)



- 化学品 ⇒ 発炎筒・受託評価分野・電子材料分野 = 増販
- ボトリング ⇒ 増強したペットボトル飲料製造ライン寄与
- 産業用部材 ⇒ シリコンテクノロジー = 採算性見直しによる収益改善・市場環境の回復
東洋発條 = 販路の拡大・市場環境の回復
- その他 ⇒ 富士商事 = 新規顧客獲得、エスディーネットワーク = 新規連結寄与

中期経営計画「礎100」最終年度
2019年3月期 業績予想

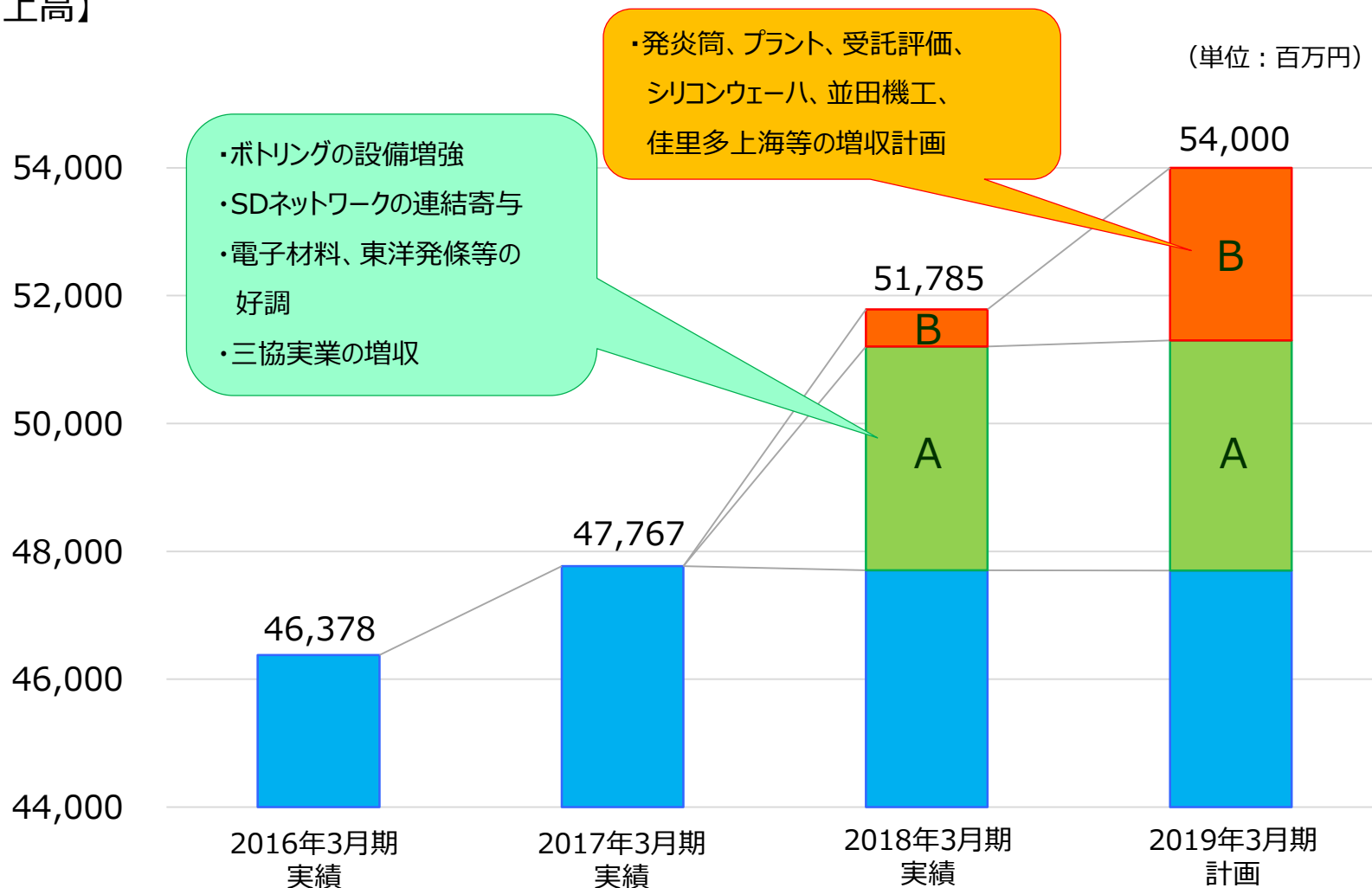
テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
 ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする

(単位：百万円)

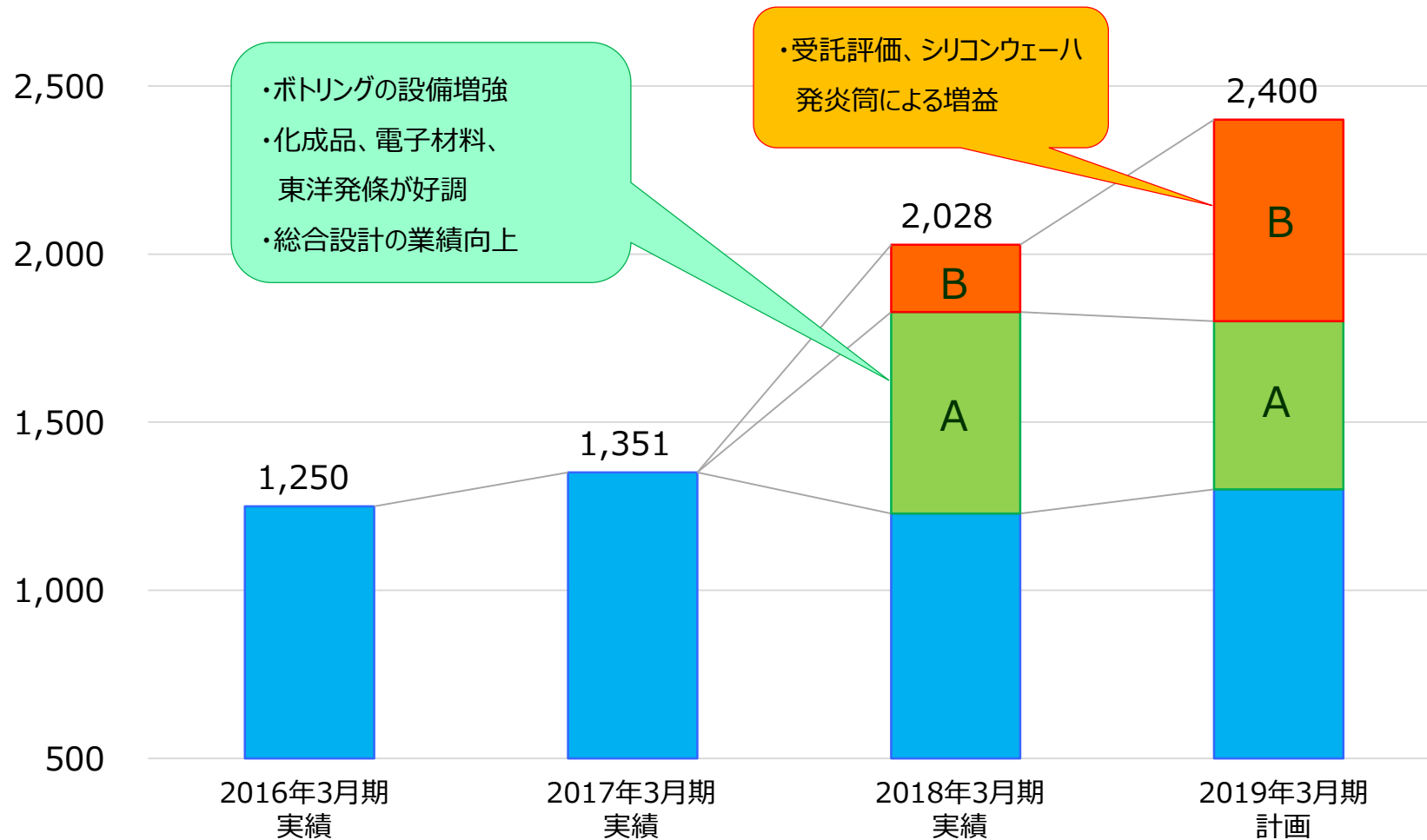
	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	2018年3月期実績 2019年3月期予想 比較
売上高	51,785	54,000	2,214
営業利益	2,028	2,400	371
経常利益	2,176	2,500	323
当期純利益	1,506	1,500	△6
配当（1株当り）	12円（普通配当10円+ 記念配当2円）	12円	±0

【売上高】



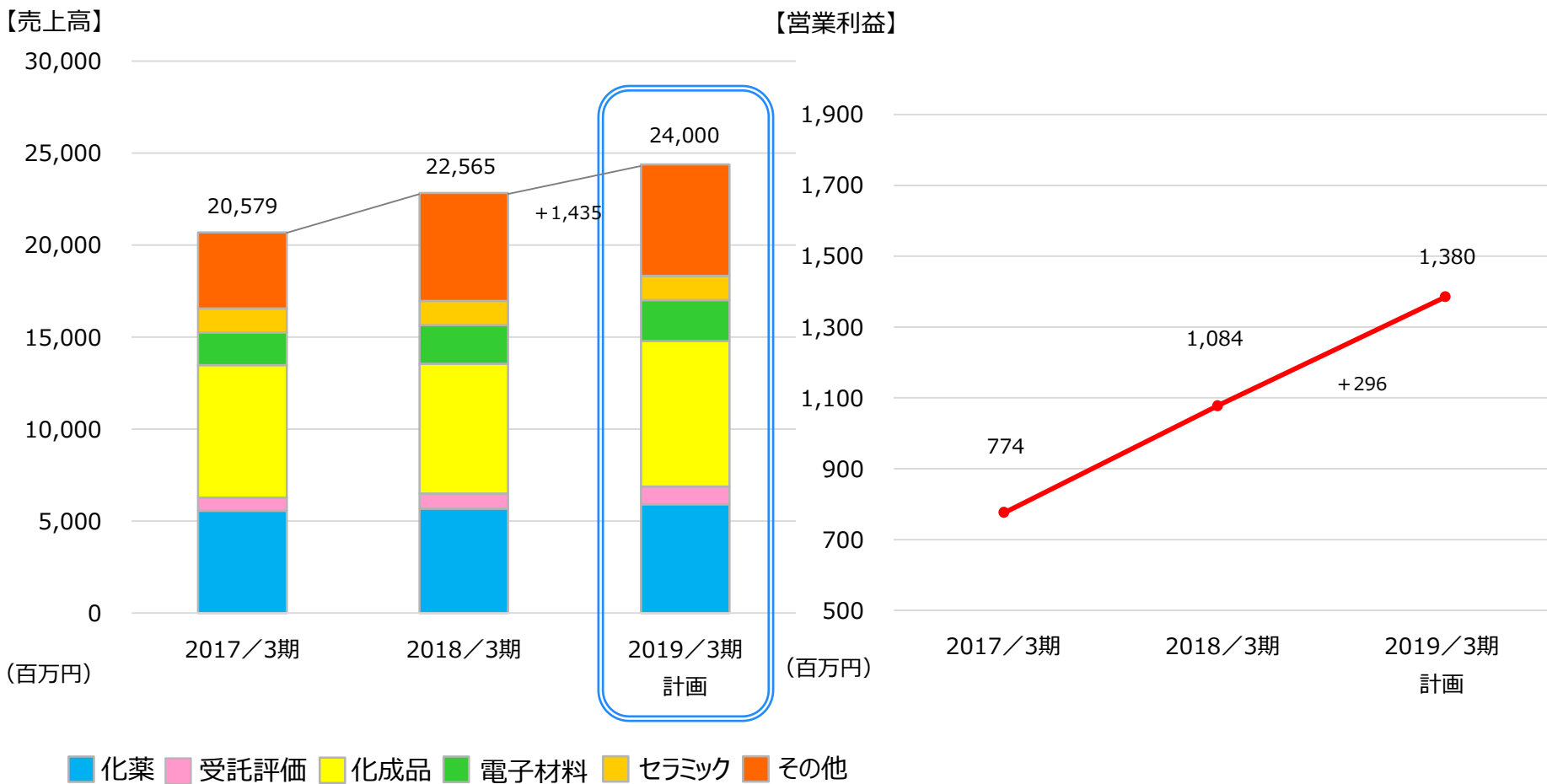
【営業利益】

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	差異	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	差異
化学品	22,565	24,000	1,435	1,084	1,380	296
ボトリング	19,298	19,200	△98	592	460	△133
産業用部材	8,418	9,000	581	231	410	179
報告セグメント計	50,282	52,200	1,918	1,908	2,250	341
連結合計	51,785	54,000	2,215	2,028	2,400	371



【売上変動要因】

分野	製品	売上変動要因	状況・施策	
化 薬	産業用爆薬	砕石・土木工事案件数	シェアアップ	
	自動車用緊急保安炎筒	国内自動車販売台数 車検台数	車検台数増加 ガラス破壊機能付きへの交換を促進	
受託評価	危険性評価試験 電池受託評価試験	リチウムイオン電池需要 顧客の開発状況	設備増強・業務提携 高い稼働率を維持	
化成品	塩素酸ナトリウム	紙パルプ需要	シェア維持・拡大	
	過塩素酸アンモニウム	H II ロケット打ち上げ数	打ち上げ数順調	
	電極・電解装置	浄水施設需要	増加見込	
電子材料	電気二重層キャパシタ用電解液 イオン導電材料	コンデンサ・液晶需要	ドライブレコーダー・建機など新規用途 向けへの採用の促進	
セラミック材料	研削材	鉄鋼需要 (自動車生産台数)	シェアアップ	
その他	上海	—	新規商品の取扱開始	
	合成樹脂材料	ポリスチレン需要・価格	シェアアップ	

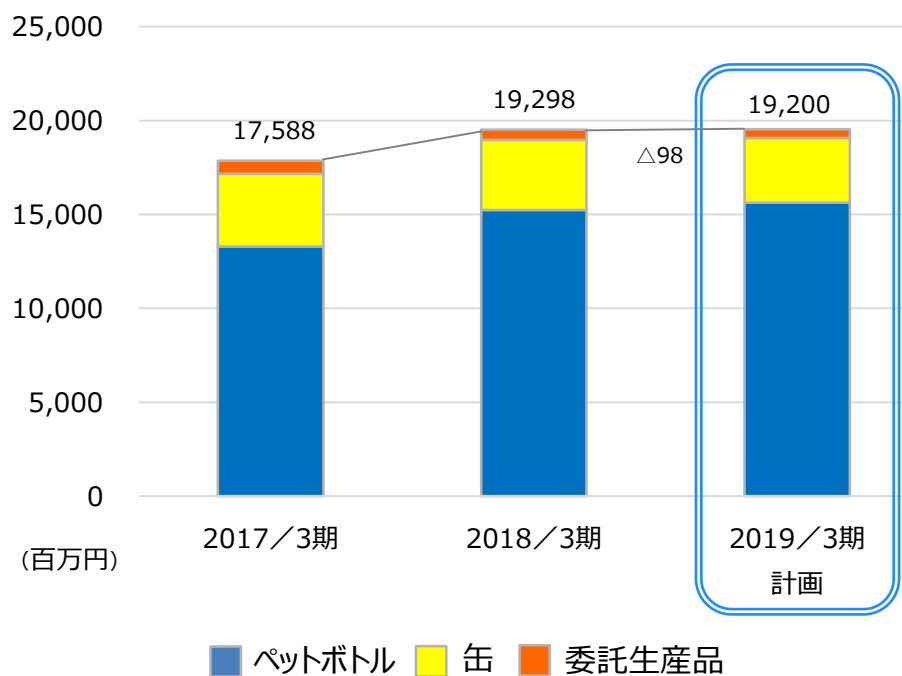
製 品

売上変動要因

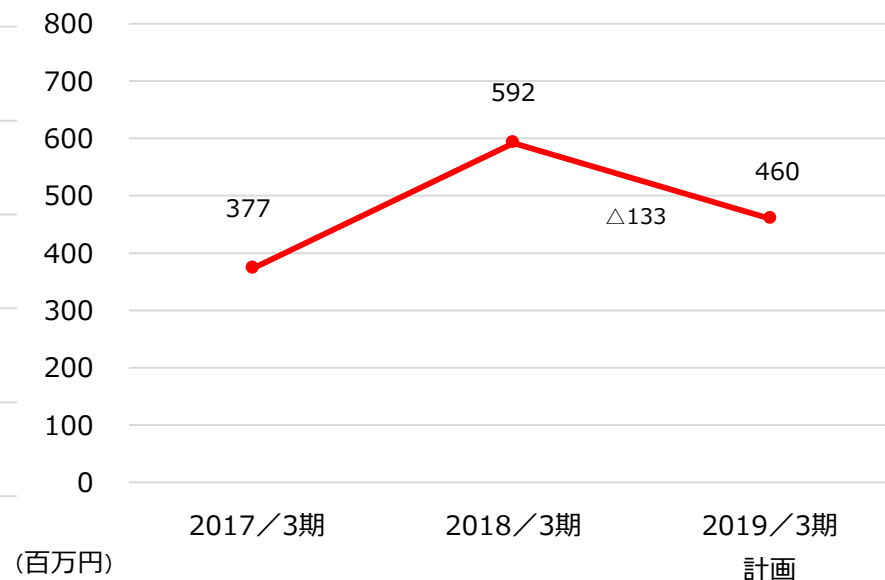
状況・施策




ペットボトル製品	生産能力 夏季の気温	ペットボトル飲料製造ラインの設備を增強 容量増加による生産効率低下	➡
缶製品	ボトル缶の普及 コンビニコーヒーの普及	お茶缶は維持するものの、 コーヒー缶は漸減傾向	➡

【売上高】

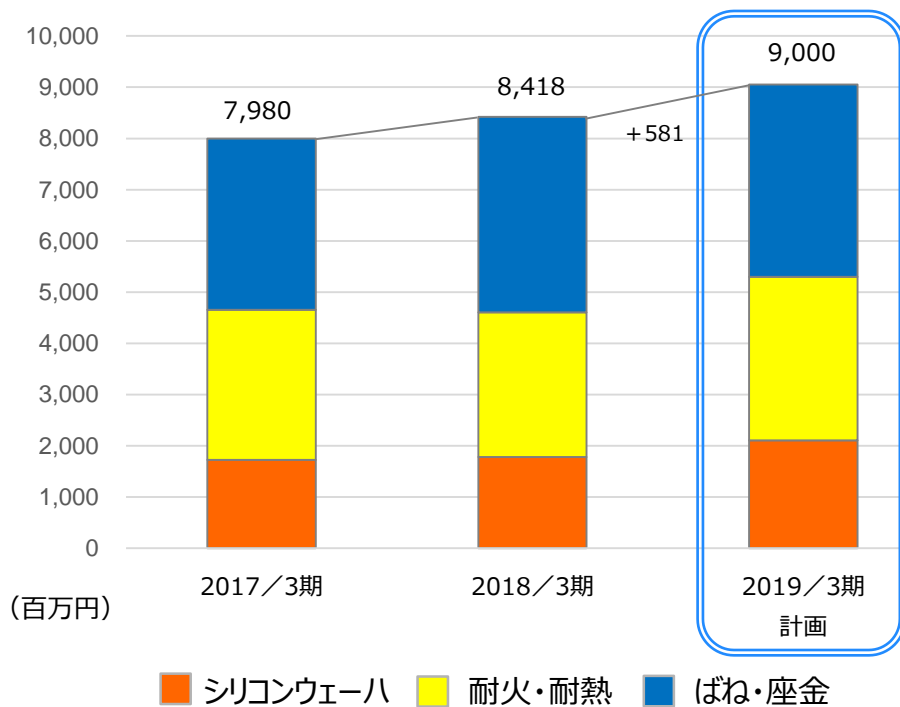


【営業利益】

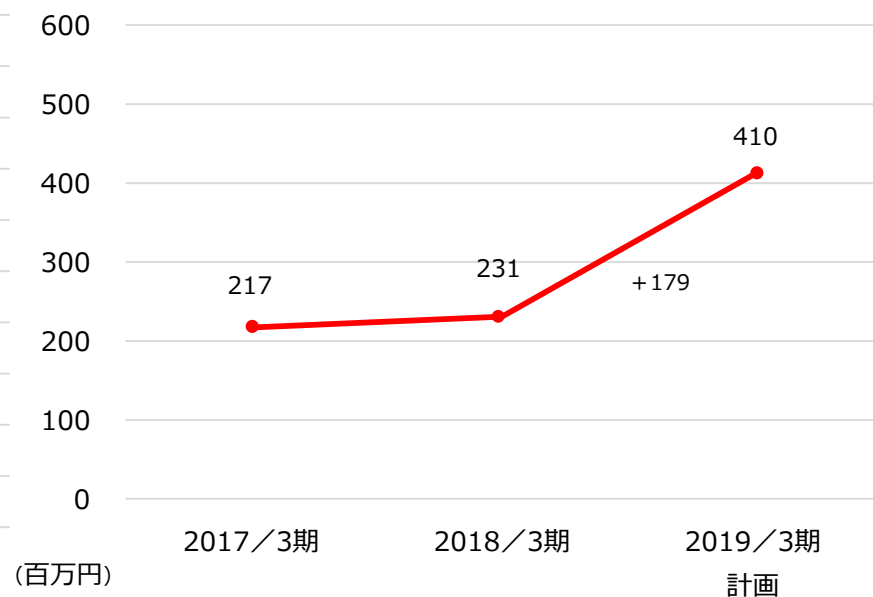


製 品	売上変動要因	状況・施策
シリコンウェーハ (シリコンテクノロジー)	半導体市況	半導体市況は好調継続 生産性の向上・採用活動 
耐火・耐熱金物製品 (並田機工)	炉(焼却・製鉄・セメント)の新規・ 定期修繕動向	海外拡販 品種拡大 
ばね・座金製品 (東洋発條工業)	建機・自動車の生産台数	自動車向けへの拡販 

【売上高】



【営業利益】



次の100年に向けての取り組み

次の100年に向けて

<設備投資・減価償却費 見通し>

化学品

広桃発電所更新工事 約6億円

ボトリング

ペットボトル飲料製造ライン設備増強工事
約10億円

開発

推進薬研究施設新設 約10億円

化学品

広桃発電所更新工事 約17億円

危険性評価複合施設増強 約2億円

産業用部材

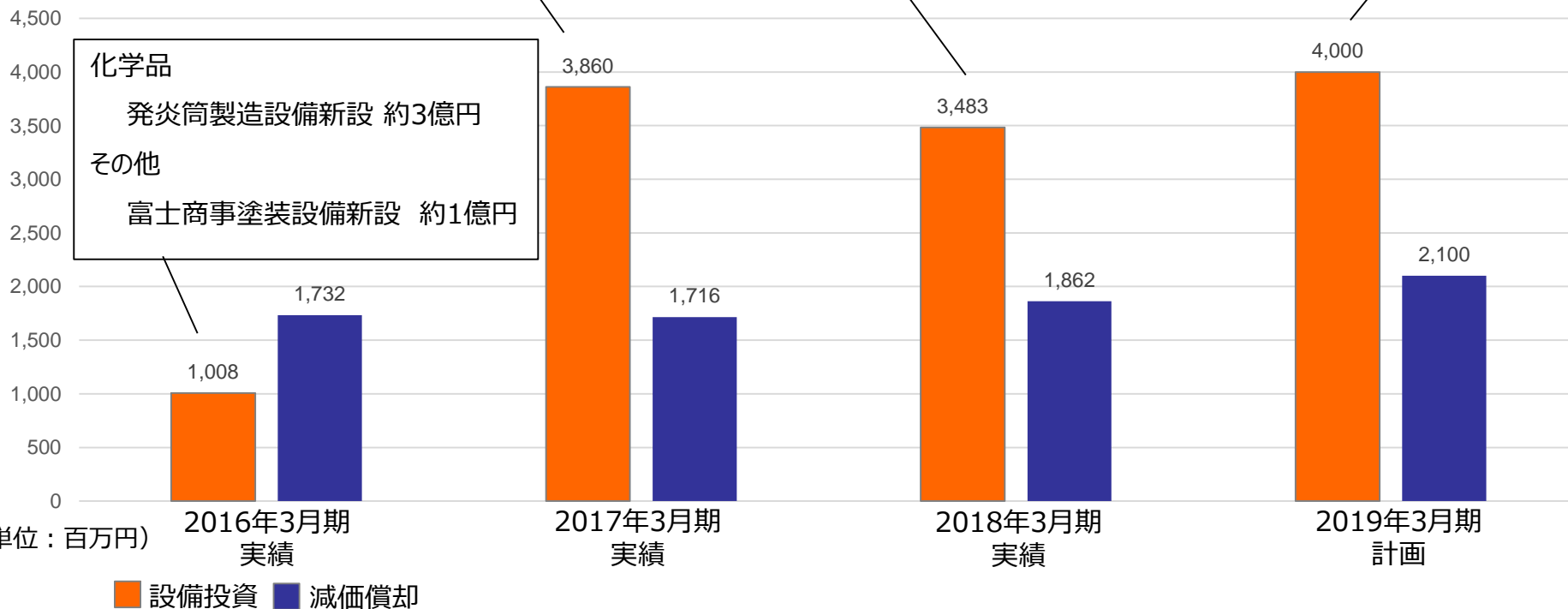
東洋発條工業新工場取得 約4億円

開発

推進薬研究施設二期工事

グループ会社

設備更新・生産効率向上投資 等



【広桃水力発電所】 投資額 約23億円

年間発電量 約1,900万kwh（購入電力料金 約3億円に相当）

CO2排出削減量 年間約9,000t



恒久的なCO2削減による環境保全への貢献



広桃水力発電所

【ロケット推進薬研究施設】 投資額 約10億円

2017年3月 推進薬研究施設完成

火薬技術の知見を活かし、拡大する宇宙産業市場へ参入



高性能でコスト競争力のあるロケット燃料の開発



推進薬研究施設

【危険性評価複合施設】 投資額 約2億円

2017年3月 危険性評価複合施設 新設

2018年1月 大型リチウムイオン電池圧壊試験機 導入



多様なLiB試験需要に対応できる体制を確立

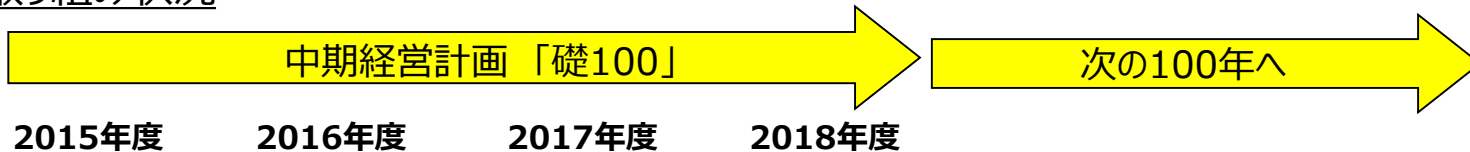


危険性評価複合施設

次の100年に
向けて

<開発テーマの進捗状況>

開発テーマの取り組み状況



体制再構築
人財教育

高エネルギー研究所

低コストで高性能な推進薬の開発
固体推進薬のパイロットプラント建設

ビジネスフレーム構築 拡販へ

環境エネルギー研究所

LiB用部材（原料）の開発
電解液、電極などの部材の開発
とサンプル提供

キャパシタ用部材・原料の開発推進

ライフサイエンス研究所

茶殻から有用成分を抽出する技術の導入
茶殻から有用成分を 取り出す技術を確認
パイロットプラント 立上げ

環境の精査 試験販売開始

新材料技術研究所

光学用途シリコンの開発、ゲルマニウム精製事業の開始
サンプル出荷
有償販売開始

事業化開始 拡販に注力

社会課題

当社の事業

宇宙

人工衛星の利用拡大
待機衛星の増加
民間ロケットの増加



ロケット推進薬の開発



蓄電

EVの普及
安全性向上



キャパシタ用部材・原料の製造
危険性評価試験
充放電試験



半導体

AI・IoTの普及



シリコンウェーハの製造

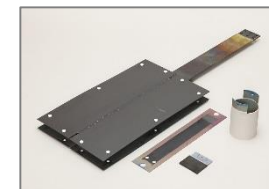


生活

環境保護
健康
セキュリティ



水処理用電解技術
酵素・バイオリファイナリー技術
光学レンズの開発



次の100年に
向けて

<100周年記念事業>

コーポレートスローガン

新たなコーポレートスローガン
「無限の可能性をカタチに」を策定

学生支援

経済的な理由により就学が困難な学生に向けた
給付型奨学金制度を新設1人当たり最大72万円を給付

地域貢献

日本カーリット保土ヶ谷工場跡地である横浜市の
「たちばなの丘公園」にヨコハマヒザクラやシダレザクラを植樹

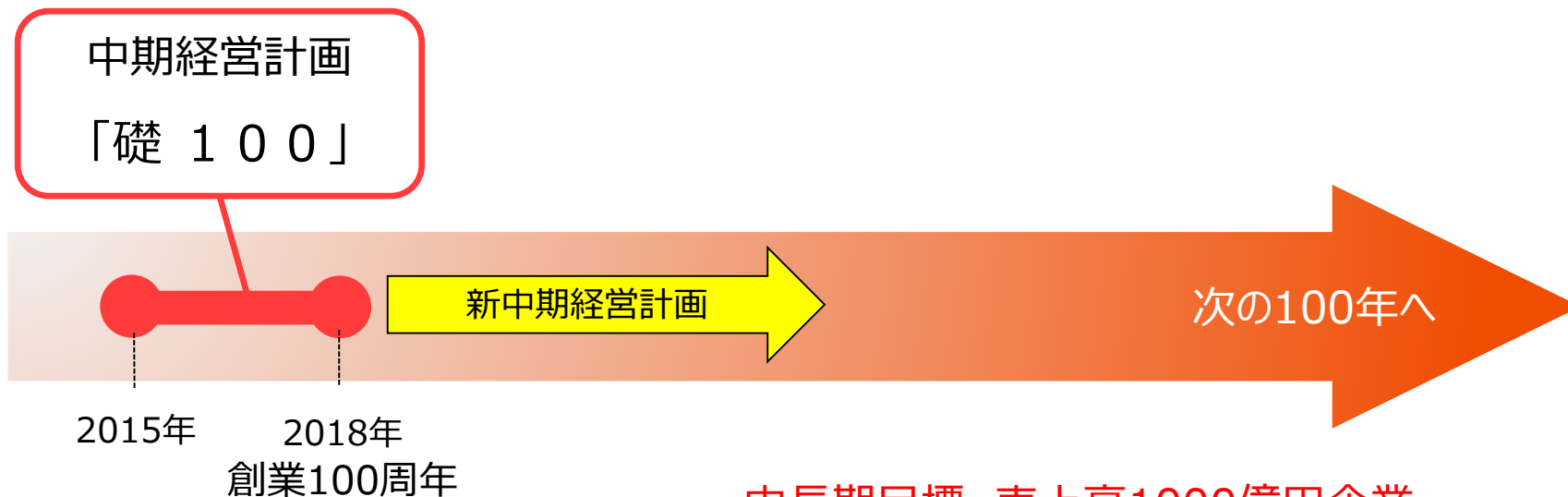


植樹されたシダレザクラ

次の100年
に向けて

<次の100年に向けて>

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して



中長期目標 売上高1000億円企業

注カテーマ

ガバナンス強化

海外戦略強化

人財強化

研究開発強化

(単位：百万円)

	2017年 3月31日	2018年 3月31日	差異		2017年 3月31日	2018年 3月31日	差異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	4,262	4,316	54	支払手形及び買掛金	5,939	8,092	2,152
受取手形及び売掛金	10,885	13,674	2,788	有利子負債	10,307	9,565	△742
棚卸資産	3,834	4,215	381	その他負債	9,272	11,114	1,842
その他流動資産	1,217	1,159	△58	負債合計	25,518	28,772	3,253
有形固定資産	19,961	21,453	1,491	純資産の部			
無形固定資産	580	337	△242	株主資本	20,639	21,908	1,269
投資その他の資産	8,695	9,303	608	その他の包括利益 累計額等	3,280	3,780	499
				純資産合計	23,920	25,688	1,768
資産合計	49,438	54,461	5,022	負債純資産合計	49,438	54,461	5,022

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,384	2,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,871	△ 1,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 137	△ 1,155
現金及び現金同等物の増減額	△ 656	91
現金及び現金同等物の期首残高	4,788	4,131
現金及び現金同等物の期末残高	4,131	4,222

IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部

電話：03-6893-7060

メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2018年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。